

父・バルトーク

息子による大作曲家の思い出

著・ペーテル・バルトーク
訳・村上泰裕

大作曲家ペーラ・バルトーク。息子が見た芸術家の普段の姿がここに。これまで知られてこなかった、バルトークの一面や状況についても記述。貴重な写真も掲載しました。

ハンガリーの大作曲家バルトーク (1881-1945)。その作品はいまなお世界中のオーケストラやオペラハウスで上演されています。その大作曲家の後半生を、次男ペーテル・バルトークが詳細に記述しました。バルトークが普段どういう生活を送っていたか、どのように作曲活動をしてきたか、どんな性格だったのかなどを、愛息ならではの視点で紹介しています。また、著名な音楽家との交流の様子も出てきます。

バルトークは第二次世界大戦でナチスの侵攻迫るハンガリーからアメリカに亡命。著者も追って渡米しました。当時の緊迫した様子や、一般の人々が混乱する様子なども描かれています。そして、米国での困窮の事情や、支援する音楽家達の行動などについても詳しく述べられています。

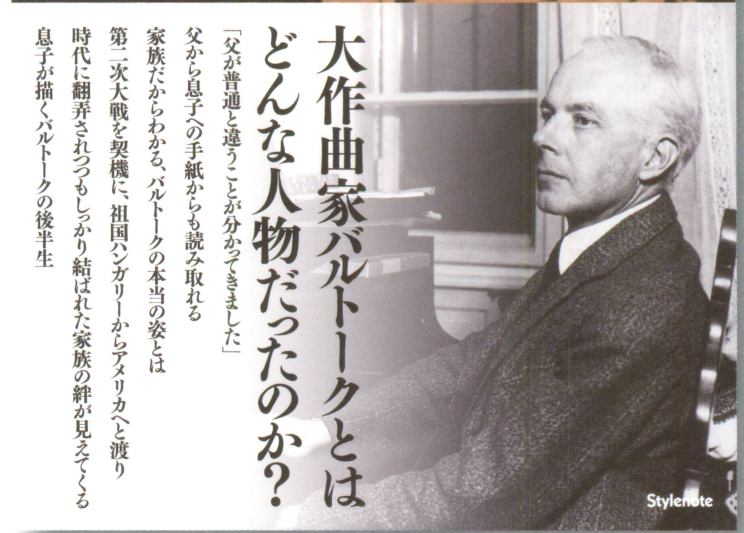
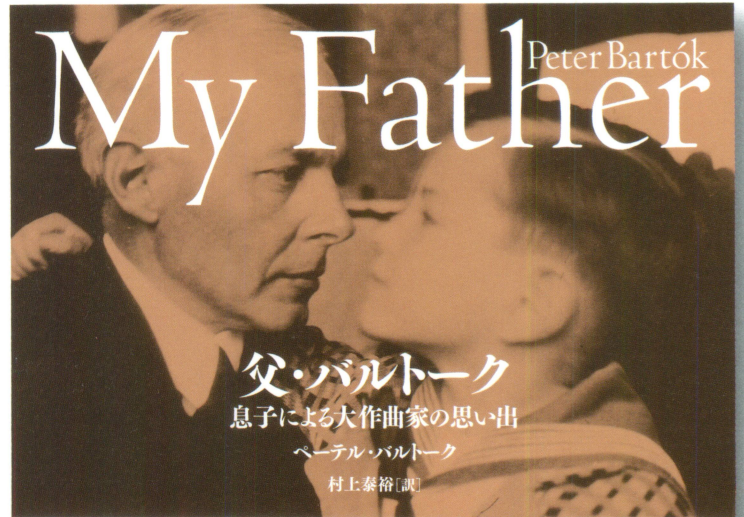
また、これまで知られていなかった亡くなる直前の状況や、作品ができた背景、バルトークのライフワークだった民謡収集作業についても詳しく書かれています。親子で交わした大量の書簡集と、数々の貴重な写真も収載しました。

●目次	
日本語版へのまえがき	第八章 どんな人？
まえがき	書簡集
第一章 幼い頃	父ペーラから息子ペーテルへの手紙
第二章 住まい	第一部 ヨーロッパ
第三章 ブダペスト 1932~1940年	第二部 アメリカ
第四章 山歩き	訳者あとがき
第五章 アメリカ	本書の舞台となった主な場所
第六章 民族音楽	主要人名索引
第七章 音楽作品	

●定価：4,000円(本体) ●A5判 464ページ 上製

●ISBN：978-4-7998-0119-2 C1073

●発売日：2013年8月8日



大作曲家バルトークとはどんな人物だったのか？

「父が普通と違うことが分かってきました」
父から息子への手紙からも読み取れる
家族だからわかる、バルトークの本当の姿とは
第二次大戦を契機に、祖国ハンガリーからアメリカへと渡り
時代に翻弄されつつもしかり結ばれた家族の絆が見えてくる
息子が描くバルトークの後半生

●著者紹介
ペーテル・バルトーク (Bartók Péter)
1924年7月31日、ハンガリーのブダペスト市生まれ。作曲家ペーラ・バルトークの次男。少年時代に父のピアノ曲《ミクロコスモス》第1、2巻を献呈される。亡命した両親の後を追って42年に渡米し、45年に父親の最期を見取る。49年にバルトーク・レコーズを設立し、録音技師として父親の作品を中心とする高品質なレコードを世に送った。90年頃から父親の作品の改訂を数多く手掛ける。現在、フロリダ州ホモッサ市在住。

●訳者紹介
村上 泰裕 (むらかみ やすひろ)
1962年、山形県米沢市出身。福島大学教育学部中学校課程英語科と京都大学教育学部教育心理学科を卒業。1989年から2010年まで山形県内の公立中学校教諭を務め吹奏楽部顧問としても活躍。現在、山形県内の公立中学校で講師も務めながら、バルトークの作品の紹介や楽譜の制作などを通じて、著者ペーテル・バルトークの支援活動をしている。



9784799801192

父・バルトーク
息子による大作曲家の思い出

著・ペーテル・バルトーク 訳・村上泰裕

ISBN978-4-7998-0119-2 / 定価4,000円(本体)

書店様ご発注数	番
▶取引先: トーハン・日販・大阪屋・大洋社・日教販 線 銀谷・東京官報 印 ▶その他の取次粘合でも返品・返品可能です。	

ご注文者様	お名前:	ご注文数:	冊	電話番号	-	-
	ご住所:			FAX	-	-
	電話番号:			ご担当者様名		

お近くの書店でご注文ください。(読者の方から出版社へ直接ご注文の場合は、発売後に(株)ブックライナーより宅急便の代金引換で手数料210円が加算されての配送となります。)

※書店様へ：事前注文分は弊社宛 FAX で (042-325-5781) お送りください。刊行時に注文扱いで送品いたします。

本書の取次からの新刊自動配本はありません。事前のご注文分のみ送品いたします。

弊社の書籍は常に返品入帖を受け入れております。返品の際は「版元・薄井了解済み」でご返品ください。あるいは返品承諾書を FAX でご請求ください。